

これまでの検討委員会における主なご意見





■第1回委員会での主なご意見

テーマ	主なご意見
公共的な交通としての在り方	<ul style="list-style-type: none"> ○公共的な交通として扱う以上、地域の公共交通の計画とともに考えていくことが必要。 ○他の公共交通とシェアサイクルが、どのように共存・役割分担するかが重要。 ○シェアサイクルは様々な移動目的で利用されており、公共交通を補完する活用がされているケースがある。 ○シェアサイクルは通常の公共交通とは異なり、利用者がドライバと乗客の両方の役割を果たすことから安全性の確保が必要。 ○安全性においては、自転車の通行空間とポートを一体的に整備することが重要。 ○行政による支援の在り方を考える上で、シェアサイクルの導入によりどのような課題を解決するかを踏まえることが重要。都市部と観光地では解決すべき課題が異なる。 ○シェアサイクルを公共的な交通として扱うのであれば、シェアサイクルのデータを地域の計画のために活用すべき。
公共用地等へのポート設置の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ○採算性が悪い都市の共通点として駅の近くにポートが無いことが挙げられ、地方公共団体等と連携して駅前にポートを設置することが重要。
利便性向上等	<ul style="list-style-type: none"> ○シェアサイクルにおいては、他の公共交通以上に動的な情報を出さないと不便。 ○各国の主要な公共交通の経路検索では、ポート位置や台数の状況が把握できる。 ○MaaSの観点からみると決済の共通化が重要。それぞれのモビリティの情報をまとめて共通化することが重要。



■第2回委員会での主なご意見（ヒアリング内容）

テーマ	主なご意見・ヒアリング内容
公共的な交通としての在り方	○シェアサイクルは公共交通機関の補完等として、 住民の日常利用や観光客の利用における利便性・回遊性の向上、環境負荷の軽減等を目的に導入 されている。
公共用地等へのポート設置の在り方	○サイクルポートの設置に関して、公共的な交通手段としての位置づけ、各種法律への位置付け、統一的なサービス水準や公共用地の提供条件等の明確化、手続きの簡素化、公開空地の活用、附置義務へ参入、交通結節点への設置促進を求める声が多い。 ○また、 行政による用地提供、補助等の支援 が求められている。
サイクルポートへの案内誘導策	○自動車からの転換を目指すのであれば、 自動車を使っている人に届くような情報の出し方や、非利用者がシェアサイクルを認識できるアピール が必要。
利便性向上等	○ 公共交通との連携、他地域との相互利用、経路検索やMaaSの取組 の必要性への意見が多い。

■第3回委員会での主なご意見

テーマ	主なご意見
公共的な交通としての在り方	○ 自転車活用推進計画にシェアサイクルを位置付ける ことが、行政内の連携を図るうえでも重要。 ○持続可能性を高めるため、 シェアサイクルに対する財政上の対策も考慮が必要 。 ○シェアサイクルの公共性を考えるにあたって、データの在り方についても戦略的に考えることが必要。MaaSのデータ連携の議論も踏まえて話ができればよい。 ○ 事業者のデータを行政の総合計画に生かしていく という観点は非常に大事。
公共用地等へのポート設置の在り方	○各地域の 優良事例等 について、 各地方公共団体に対する情報提供や周知 をしていただきたい。 ○地域によって警察からポートの設置許可が下りないケースがある。シェアサイクル活用の方向性について、 各地域の警察への情報共有 をお願いしたい。